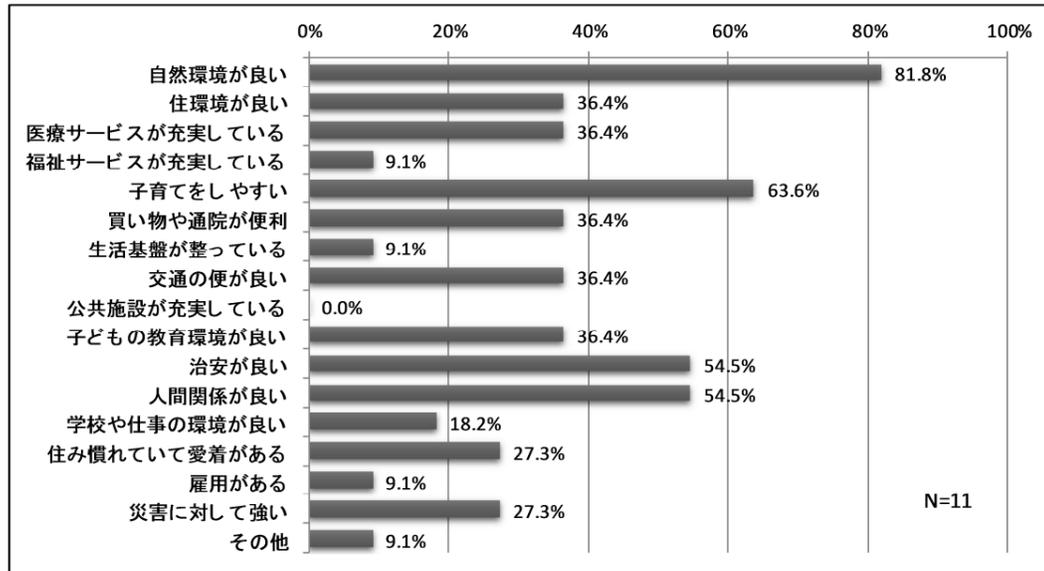


■ 三木みらい会議（三木地区）アンケート結果の概要（主な意見）

- 1 開催日時：平成31年2月18日（月）19時30分～21時
- 2 開催場所：中央公民館
- 3 参加人数：29人（男性 27人、女性 2人）
※市3人、コンサル2人参加

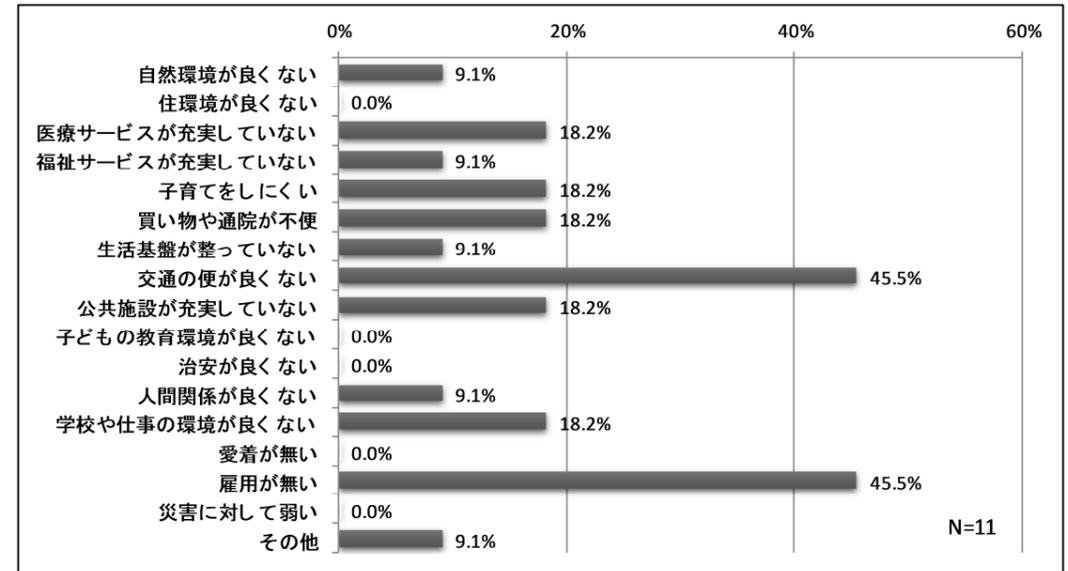
年齢	30代	40代	50代	60代	70代
人数	2人	14人	7人	5人	1人

① 地域の良さ（複数回答）



その他：
 ・歴史、伝統が守られている
 ・実はすごいものがたくさんある

② 地域の課題（複数回答）



その他：
 ・多くの方が、地域の良いところに気づいていても自信を持って自慢ができていない。
 ・日常レベルの買い物に不便はないが、若者にとっての娯楽という点では足りていない。
 ・地域に雇用はあるが、地域の若者がその仕事につきたいとは感じていない。

③ 地域がどのようなまちになれば良いか

- ・障がい児（者）にやさしいまち。ヘルプマークのアピールや18歳以上の方の事業所を増やしていく。
- ・また、企業の積極的な雇用、災害時に障がい児（者）や保護者などが安心して避難できるまち
- ・私自身は今ままで十分良いと思うのですが、これから老人が多い時代になるので、老人にやさしいまち
- ・意見やアンケートが行政の施策に素早く反映されるまち

④ ③のようなまちになるために、地域で取り組むことが考えられるまちづくり活動

- ・避難所を決めておく。
- ・ワークシェアをしていく。
- ・ある雑誌や商品の製造販売などをしていく。
- ・ヘルプマークのアピール、使い方や意味などを市からアピールしていく。
- ・しっかりと芯がある「三木の誇り」を創ることをイメージして、教育・市民活動・産業・まちづくり・広報など、あらゆる分野で施策展開をされたい。住民も業界もそうするべき。

⑤ その他自由意見

- ・野球選手もたくさん出てきているので、市の広報だけではなく、市長のところへ遊びに来ました、と言った感じで、フランクな感じでアピールしていく。
- ・市役所に展望レストランがほしい。
- ・三木市内を走っているバスで、乗り換えが無く市役所や病院まで行ければよい。
- ・大規模なショッピングモールを誘致し、若者の娯楽になる施設を付加して神戸市西区や加古川市北部まで商圈となるようにしてほしい。
- ・三木駅の再生に当たっては、駅前居酒屋やファーストフード店など、そこで途中下車したり電車通勤の中で消費を生み出す構造を組み込むべき。また、三木の玄関口としての機能が必要。観光協会を新駅舎に移してもよい。
- ・公共交通は、住民目線ではなく誘客目線で路線を考えるべき。
- ・市内の企業において、市内の常識である車通勤を前提とするのではなく、公共交通での通勤を前提とした求人ができる状態を整えるべき。

- 旧市街地の再開発にあたっては、歴史・鍛冶屋のまちの拠点となる部分を明確につくり、緑が丘や自由が丘などの住宅街に住む人も関わられるようにするべき。
- 金物見本市や物産展は、海外に情報発信拠点をつくってPRするべき。
- 三木地区は多くの歴史資源があり、産業遺産もある。もっとも三木のアイデンティティが詰まった地区である。中心街でありつづけてもらいたい。
- 三木市に対する自信や誇りを回復、あるいは創出しなければならない。三木の歴史は神戸よりずっと古く、金物や山田錦ももっと自慢してよい。それを皆が子どもに伝えてほしい。それを堂々と誇れる子どもたちを地域で育てて、将来の三木を受け継ぐ者として育ててほしい。
- 地域に住む地域の担い手、地域に魅力を感じて地域の外から集まる人、そして、それらの人が地域のために一生懸命になってくれるような「三木の誇り」が感じられる施策を、行政、市民、企業が一体となって展開してほしい。
- 行政が、他の自治体を見ていく必要がある。小野市や三田市を参考にすればよいと思う。